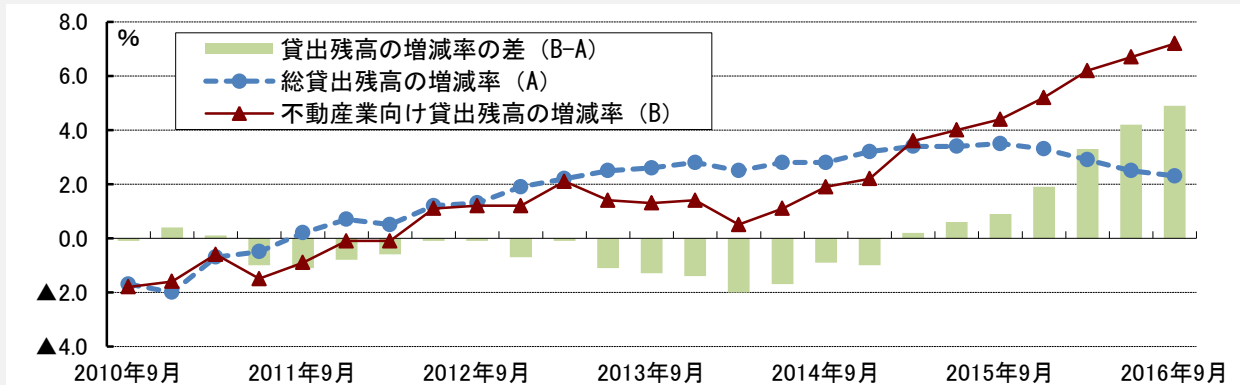


● 国内銀行による不動産業向け融資残高が拡大

日本銀行が 11 月 17 日に公表した「貸出先別貸出金」によると国内銀行による不動産業向け貸出残高は前年同期比 7.2%増の 69 兆 6698 億円に達した。総貸出残高も 2011 年 9 月以降対前年でプラスとなっているが、このところ不動産業向け貸出残高の伸びは、それを大幅に上回っている。低金利政策の影響で、不動産関連企業による借り入れが活発化している。



貸出先別貸出金：日本銀行

● 2016 年 1～9 月首都圏マンション価格の平均値 5,663 万円・中央値 5,080 万円

不動産経済研究所は、首都圏 1 都 3 県および近畿圏 2 府 4 県における新築分譲マンションの戸当たり価格および専有面積の中央値の集計結果を公表した。2016 年 1～9 月の平均価格は 5,663 万円、中央値は 5,080 万円、平均面積は 69.99 m²、中央値は 70.96 m²となった。

不動産経済 マンションデータ・ニュース：不動産経済研究所

● 2016 年の上場企業による不動産取得は 4 年ぶりの前年割れへ

東京商工リサーチが発表した「2016 年 1-10 月「上場企業の不動産取得」調査」によると、国内不動産の取得、工場・社屋の新設などを公表した上場企業は 43 社であり、このペースで推移すると年間（1-12 月）では前年の 56 社を下回り、4 年ぶりに前年割れになる見通しが強まった。その要因については、円高やデフレ脱却の遅れなど、景気の先行き不透明感の広がり背景下、投資マインドの様子見傾向を反映したものと分析している。

2016 年 1-10 月「上場企業の不動産取得」調査：東京商工リサーチ

● 2016 年の首都圏マンションの収益力は過去最低に

東京カンテイは 10 月 31 日、「マンション PER 2016」を公表した。2016 年の首都圏の新築マンション収益力を示す PER は 28.66 と 02 年の調査開始以来、最も低い水準となった。

マンションの平均賃料（70 m²換算）は対前年で 5.3%上昇の月額 175,551 円となったが、マンションの平均価格（70 m²換算）は対前年比 10.3%上昇の 5,998 万円と賃料の上昇幅を上回った。

マンション PER 2016：東京カンテイ